

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・4年生では、目標値を上回ることができた。「読み方」と「解き方」を身に付けさせたり、例文を用意し、どの子も書けるような工夫をしたりしてきたことで、特に活用力で大きく目標値を上回ることができた。
- ・5年生では、学習した漢字を常に使用させたり、繰り返し練習に取り組み学習内容の定着を図ったりする指導を続けたことで、基礎的な力が付いてきた。
- ・6年生では、数種類の資料を通して資料を読むポイントを理解させたり、根拠に基づいて文章を正しく読み取ることができるよう指導したりすることで、文章を読み取る力が付いた。

(2) 課題

- ・今年の大田区学習効果測定の結果を見ると、観点別では、「知識・技能」、領域別では「書くこと」「言語文化に関する事項」が目標値を下回った。記述式の問題では、無回答で問題に取り組めていない児童の割合も高い。書く力を育て、主体的に学習に取り組む力を伸ばしていくことが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値を上回っている。	/	/
第5学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	/
第6学年	目標値を下回っている。	目標値を上回っている。	目標値を下回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区の平均を共に下回っている。 ・ローマ字の読みや主語と述語の関係について、目標値を大きく下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区の平均を共に上回っている。 ・文章内容から情報をもとに考えたり理由を添えて自分の意見を考えたりする力が付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な学習の成果が表れており、学習に取り組む習慣を身に付けている。 ・自分の考えを表現する課題に前向きに取り組むなど、学びに対する主体性が育ってきている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区の平均を共に下回っている。 ・5年生では修飾語について、6年生では敬語についての問題など、言語に関する問題で大きく目標値を下回った。 ・漢字の読み書きは、5年生、6年生共に目標値を上回るか目標値程度だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区の平均を共に下回っている。 ・自分の考えと事例との関係を明確にして書いたり、相手や目的、意図を明確にして伝えたいことを書いたりする問題で大きく目標値を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう意欲は感じられるが、内容の深まりや広がり、思考の深さなどにつながっていない。 ・記述問題に対して苦手意識があり、取組前から諦めてしまっている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名・漢字の読み書きを繰り返し練習し、日常的に使うことで定着させる。 主語と述語が噛み合わない文のねじれ等をその都度指導する。 読み聞かせや朝学習で、語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想や理由を入れた自分の考え、つなぎ言葉を入れた簡単な説明など、児童の実態に応じた手本文や話型を用意し、文章を書いたり話したりすることに慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題やポイントを明示し、すすんで取り組めるようにする。 ICTを活用し、視覚的に理解できるように工夫する。 2人組での感想や考えの交流を、日常的に取り入れる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きの力を伸ばすために、学習した漢字を常に使用させるようにする。 ドリルやプリントを活用し、繰り返し練習に取り組み学習内容の定着を図る。 朝学習の時間や「書くって楽しいね」を活用し、基本的な文章を書く力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的な文章は、中心となる語や文章に、傍線を引いてつながりを意識して読ませる。 ポイントを押さえ、「読み方」と「解き方」を身に付けさせる。 基本の文章構成の例文を用意し、どの子も書ける工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで学習課題を考えさせたり、学習計画を立てさせたりする。 教材が身近に感じられるよう、ICTを活用するなどし、導入を工夫する。 学習の振り返りをし、自身の学びや変容を自覚できるような場面を設定する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 「連体修飾語や敬語」について正しく理解するために文書の読み取りなどを意識して取り扱う。 文章を読み取るときに「初め・中・終わり」や「序論・本論・結論」の役割に着目し、自分の考えを書く際にもその役割を意識して書くことができるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数種類の資料を通し、資料を読むポイントを理解させる。 根拠に基づいて文章を正しく読み取り、自分の考えを分かりやすくまとめられるように「書く活動」を工夫する。 お互いに自分の考えを深めたり、広げたりする。 例文で文章構成を確認し、目的や相手を意識して文章を書く練習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで学習課題を考えさせたり、学習計画を立てさせたりする。 毎時間、見通しをもって粘り強く取り組めるようにし、自らの学習振り返って、次の学習につなげられるようにする。 「キャリアパスポート」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりする。

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・出前講座や社会科見学等で経験した単元での正答率が高かった。
- ・映像資料やICTを活用することで、意欲的に学習に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・世界の国の位置や名前、都道府県の位置や名前など、知識・技能の問題の正答率が低い。
- ・資料を読み取り、正しい説明文を選んだり、記述で答えたりする問題の正答率が低い。
- ・基本的な知識を身に付け、適切に資料を読み取る力を伸ばしていくことが課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値を下回っている。	/	/
第5学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	/
第6学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・安全な暮らしの単元を除き、目標値と同程度だった。 ・市の様子の単元では、目標値を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の様子の移り変わりの単元では、資料を基に記述する正答率は、目標値を大きく下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組む姿が見られる。発言も多く、考えたことをノートにまとめている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・6年生は、ほぼすべての単元で、目標値を下回った。 ・5年生は、都道府県の様子、ごみのしよりと利用、自然災害の単元で目標値と同程度だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、都道府県の様子、ごみのしよりと利用、自然災害の単元で目標値と同程度だった。 ・その他の単元では、目標値を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて授業には取り組んでいるが、授業内容に関心が持てない児童もいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に話を聞いたり、具体物や写真、映像資料などを活用したりしながら知識の定着を図る。 ・地図記号や都道府県など継続して学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学やゲストティーチャーの講話など、振り返る時間を確保する。 ・資料を読み取り、まとめる活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所の写真や教員の経験を話すことで、社会的事象を自分事として捉えられるように、導入を工夫する。 ・導入で単元全体の見通せる問いを設定し、それを解決する学習計画を立てる。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・写真や映像資料の活用をする。社会的事象に関わる語句と視覚資料を結び付けて捉えさせ、基本的な知識の定着を図る。・統計資料や年表を読み取るための技能を継続して指導する。・教科書の音読を宿題にしたり、ドリルパークに取り組みせたり知識の定着を図ることが必要である。	<ul style="list-style-type: none">・社会科見学やゲストティーチャーの講話など、振り返る時間を確保し、分かったことや考えたことをまとめる。・複数の資料を比較したり、変化を追ったり、資料の見方を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none">・報道で取り上げられている事象について、新聞記事を提示したり、教員の経験を話したりすることで、社会的事象を自分事として捉えられるよう、導入を工夫する。・人物にまつわるエピソードや過去の写真やイラストを提示することで、歴史的事象を身近なものとして捉えさせる。・導入で単元全体を見通せる問いを設定し、それを解決する学習計画を立てる。

令和7年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度、思考・判断・表現の項目のポイントが下がった結果を受けて、算数の活動に前向きに取り組めるよう、思考したことを友達に説明する機会を増やした。そうすることで、意欲的に活動に取り組む児童が増え、自分の言葉で立式の意図を説明することのできる児童も増えた。

(2) 課題

- ・基礎的な四則計算の反復に集中して取り組めず、計算技術の定着が弱い児童が多い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値を上回っている。		
第5学年	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。	
第6学年	目標値を下回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識こそ身に付けてはいるが、技能として活用することができず、桁の多い四則計算で目標値を大きく下回っている。	もち得た知識を活用しようと考えることのできる児童が増加し、活用や思考・判断の項目では概ね区平均を上回る結果となった。	下位層に比重を置いた授業を展開しながらも、友達に考え方を説明する機会を増やしたことで、学習に臨む態度が良くなってきている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
問題の意味や解き方が分かっているにもかかわらず、丁寧に粘り強く解こうとしない児童が多いことで、四則計算の主に桁の多い数字同士の計算でポイントがとれない。	解き方が分かっている場面になると、立式はできるが、正しくその計算を終えることができないことが多くいる。	単純な構図の問題については主体性をもって取り組めるものの、先に出た解答を活用して解くなど、段階を複数分で解く問題に対して適切にアプローチできない児童が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
計算カードや具体物などを使って体験的な学習を通じて、数の概念や、基本的な計算の型を定着させる。	文章問題の状況を絵や図に表して表現できるようにする。また、文章題のキーワードを探し出し、下線を引けるようにすることで、適切に問題を読み取り、自分の考えを言語化する力を高める。	児童が関心をもって課題に取り組めるように、体験し、自分が考えたことを伝え合う活動を通して、考えを広げたり深めたりすることの楽しさを感じられるような授業をする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
算数に必要な公式や作図方法、専門用語、基礎的な四則計算の方法を定着させるように、基礎的な知識を活用して解く問題に多く取り組ませる。	数直線や図を活用して、立式を説明する活動を十分に取り入れる。児童が考えを伝え合う活動を設け、自らの考えをさらに広げ、深められるようにする。	日常生活に関連付けた課題、実際の数量を確かめる体験活動を基に、自分の考えを伝え合う活動をする。その中で自分の考えを伝えたいという意欲を高めていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
算数に必要な公式や作図方法、専門用語、基礎的な四則計算の方法を、登場した機会に反復練習を行い、確実に定着させる。	立式の過程を、図や数直線を必ず用いて説明できるように、ペアやグループでの伝え合い活動に多く取り組ませ、適切に表せられるようにする。	自分の生活との関連他教科や既習事項との関連を踏まえながら、児童が見通しをもって、自分の考えを伝え、主体的に学習に取り組めるようにする。根拠をもって、児童が考えを伝え合う活動を設け、自らの考えを広げ、深められるようにする。

令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 実物に触れたり、体験的な活動をしたりする機会を意識的に増やし、それらをグループで行うことで協働的に実験・観察に取り組み、課題解決しようとする姿勢が見られた。
- ・ キーワードや文型を提示することで、実験結果を基に考察を書けるようになった児童が増えた。

(2) 課題

- ・ 理科的な語句や用語の理解及び定着を更に図る必要がある。
- ・ 語彙力の不足等から、実験結果を基に分かったことを整理し、考察として記述したり、他者に伝えたりする力が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値を下回っている		
第5学年	目標値を下回っている	目標値を下回っている	
第6学年	目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科的な語句・用語の定着では、目標値と同程度であった。 ・ 虫眼鏡や方位磁針、観察カードの書き方など実験器具の正しい使い方の理解に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽の動きの説明など実験及び観察結果から分かったことを考察し、記述することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験に意欲的に取り組む姿が見られる。 ・ 実験では安全に注意して、実験器具を操作する姿が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科的な語句・用語の定着では、目標値と同程度であった。 ・ 水溶液の性質や見分け方についての理解に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験結果から考察したり、根拠に基づいて考えを述べたりなど記述に課題がある。 ・ 考察における因果関係の表現に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験に意欲的に取り組む姿が見られている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な器具の名称を覚え、実験器具を適切に使えるようにするために、操作する機会や時間を十分に確保する。 ・ 実物に触れる体験的な活動の機会を増やし、知識や理解を深める。 ・ 図表の書き方や読み取り方を都度指導し、すすんでできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験や観察の結果から、理由や因果関係を説明するために、「～だから」「～ので」「～から～と分かる」などの文型を用いて書けるようにする。 ・ 実験や観察の結果から、法則性や相違点に気付くことができるように、着眼点などを示し、指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実物や動画を見せることによって、出てきた疑問や発言を活かしながら主体的に実験や観察に取り組めるようにする。 ・ 既習事項をふり返り、児童の実体験と結び付け、その先を学ぶ意欲を高める。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">理科の学習に必要な語句や用語、及びそれらのもつ意味について定着を図る。既習事項をふり返るなど、繰り返し指導することで、必要な知識が確実に身に付くようにする。	<ul style="list-style-type: none">「～だから」「～ので」「～から～と分かる」などの言葉を用いて、理由や因果関係を説明する文を自分の言葉で書けるように、記述の時間を確保する。	<ul style="list-style-type: none">実物や動画を見せることによって、出てきた疑問や発言を活かしながら主体的に実験や観察に取り組めるようにする。既習事項をふり返り、児童の実体験と結び付け、その先を学ぶ意欲を高める。

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・朝顔を育てる活動を通して、生長の変化を捉えて観察することができた。
- ・野菜を育てる活動を通して、育った野菜をどのように料理するかを調べて、発表することができた。
- ・おもちゃ作りでどのように作ったら動くか、どのように遊んだら楽しく遊べるか等、グループで話し合いながら工夫して作ることができた。
- ・町探検を通して地域の人と触れ合ったり、自分たちの地域にはどのようなお店や公園、公共施設があるか理解を深めたりすることができた。
- ・学校探検などを通して、学校施設の様子や学校生活を支える人々について理解することができた。
- ・どんぐりを拾い、どんぐりを使った秋遊びを行うようになった。
- ・1・2年生、保育園との交流学習をもつことにより、学びの成長が見られた。

(2) 課題

- ・四季の変化や季節を感じて、自然を利用した遊びや自然の不思議を感じ楽しむ経験を積極的に積ませる。
- ・身近にあるものを利用したおもちゃや遊びを、試行錯誤をしながら工夫して作るなど、問題解決を図る力の基礎を育む。
- ・公共物や公共施設を利用するときのルールやマナーを学び、自分の生活に生かす。
- ・他の学年や地域の方と関わりたいという思いや願いをもち、相手の状況を考えて行動する経験を積ませる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を観察したり、季節の行事に関わったりする活動を通して、違いや特徴を見付けることができるようにする。また、四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付かせられるようにする。 (例：朝顔や野菜作り、季節ごとに校庭の木々の様子、自分たちが住む町の様子等) ・身近にある公共施設へ行き、皆で使う物や場所、施設を大切に正しく利用するためのルールやマナーについて学ぶことができるようにする。(例：図書館見学・駅・電車を利用する等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人（友達、家族、保育園、他学年や地域の人、公共施設で働く人）と関わる機会を多く設定し、相手の状況を考えて行動する経験をさせる。 ・家庭における家族のことや自分でできることについて考え、自分でできることを増やしていく。 ・身近にあるものを利用したおもちゃや遊びを、試したり工夫したりする為の時間を確保し、試行錯誤を経験させる。 ・気付いたことや考えたことを様々な方法（言葉絵、動作、ICT等）で表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物に目を向け、地域との関わりをもてる活動を設定する。それにより、社会の一員としての安全で適切な行動をしようとする態度を育てる。 (例：身近な公園や公共施設へ行き、公共物や公共施設の利用方法を学ぶ) ・日常的に動植物に触れる機会をもてるよう工夫する。それらを観察したり、体験したりすることにより、動植物に親しみをもち、大切にすることを育む。 ・自分の願いや思いをもち活動させ、学習に対する意欲を更にもたせる。

<ul style="list-style-type: none"> • 生命及び自然に対する興味や愛情を認め、さらに生命や自然に対する思考に至るような活動や言葉かけを工夫していく。 • 自分自身を見つめる機会を通して、自分の生活や成長には身近な人々の支えがあることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分が考えたことや思ったことを伝え合う時間を十分にとることで、活動を振り返り自分と友達の意見を比べたりすることができるようにする。 • 友達との交流を通して、新たな気付きや思い、考え、活動が生まれるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 対象と関わる中で知りたいことや疑問に思っていることを話し合い、児童が思いや考えをもって主体的に活動できるようにすることで、満足感や達成感を味わうことができるようにする。
--	--	--

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌唱・器楽・鑑賞活動において、曲想と音楽の構造との関わりに気付いて曲を分析することが身に付いてきた。また、曲の特徴を捉えた表現の工夫も各々自分なりの考えをもつことが全員できている。
- ・ペアや少人数グループなどで活動をすることで、全員が自分の考えを発表することができ、児童が協働的、主体的に学習する姿が多く見られるようになった。

(2) 課題

- ・曲の特徴を捉えた表現の工夫を各々考えることはできているが、表現に生かすまでには至らない。思いや意図にあった表現をするために必要な技能は身に付きつつあるので、聴き役を立て表現できているかどうか伝え合いながら表現の方法を身に付けさせる。
- ・基本的な知識や技能が定着している児童と十分ではない児童の差がみられるので、個別対応やペア活動で定着を図るようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・タンバリンやカスタネットなどの身近な楽器や歌唱の基本的な演奏方法を理解させる。曲想と音楽の構造などの関わりに気付かせる。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、音楽表現をする上でどのように表したいか思いをもって演奏したり聴いたりさせる。	・身体を動かしながら身の回りの音楽に楽しく関わり、友達と音楽活動をする楽しさを感じられるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽器や様々な歌曲、鑑賞に触れる機会を増やし、基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。また、音楽の構造や歌詞の内容と関連させながら表現の工夫につなげていく。	・曲想に対する表現方法を音楽的要素と関連させながら自分なりに意図をもって考え、聞き手に伝えるように表現したりする。	・音楽活動を楽しみながら、ペアやグループワーク、全体を通して進んで音楽活動に触れる機会を増やし、感じた良さを伝え合う場を設ける。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を確実に身に付ける。	・曲想に対する表現方法を音楽的要素と関連させながら自分なりに意図をもって考え、仮設を立てて表現したり、鑑賞したりする。	・ペアやグループ、全体活動を通して主体的・協働的に音楽に関わり、感じたことや気付いたことを、根拠をもって伝えることができるようにする。

令和7年度 図工科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットで作品撮影をして提出し作品の振り返りができた。
- ・既習事項を生かし、自分の発想を作品に表現しようとする姿勢が見ることができた。
- ・友だちの作品、アートカード、画集ともに楽しみながら鑑賞することができた。

(2) 課題

- ・発想の手立てになる材料を適宜提示する必要がある。
- ・道具類の扱いと知識が少ない。課題をこなしながら知識と経験を積み重ねることとする。
- ・画像など幅広い作品を鑑賞できるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
手や体全体の感覚や技能を働かせてつくる活動を多く設定し、身近な材料や扱いやすい用具で色や形を試しながら、経験的に技法を身に付けさせていく。	感じたことや想像したことから、表したいことやつくりたいものを見つけて表せるよう、造形遊びの中で楽しみながら試していく活動を多く取り入れる。	すすんで表したり見たりして造形活動を楽しめるよう、身近にある多種多様な材料を基に、体を使って楽しみながら取り組める素材体験活動を増やしていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前学年までの材料や用具についての経験と既習に重ね、新たな用具を正しく安全に使うための基礎技術と、表現によっての使い分ける技能を、繰り返し習得させていくことに時間をかけていく。	材料、道具の使い方と特徴を考え使えるようにする。みんなで考えを共有できるような場面設定を行い、鑑賞の際の語彙を増やす。	アイデアを楽しみながら生み出せるよう発想につながる資料を提示する。学習ルールを守りながら作品作りができるよう声掛けをする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の表現を柔軟に広げられるよう、制作の方法の説明や、材料、道具類を揃え、制作環境を充実させていく。	イメージを形にしやすい例を提示し、材料を揃え、形を作りやすい環境設定を行う。制作する作品の作工程を考え、制作の確認ができるよう声掛けをする。	作りたいものをイメージし、制作工程を考えて取り組めるよう、分かりやすい手順説明を行う。

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・体の動かし方や運動の仕方を理解することで、できることが増えた。
- ・めあてを明確にして学習に取り組むことで、運動を楽しく行い、意欲的に活動できるようになった。
- ・グループで教え合ったり、励まし合ったりする関わり合いを重視することで、友だちと仲良くし、きまりや活動を工夫できるようになった。

(2) 課題

- ・運動に意欲的に取り組む子とそうでない子の二極化している。
- ・協力し合ったり公正な態度で運動を行ったりできるようにする。
- ・日常的に運動を実施していない児童に運動を習慣化させる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身に付けさせたい動きができるようにそれぞれの運動に楽しく取り組む。	簡単な遊び方を考え、友達と協力して工夫できるようにする。	めあてを明確にし、運動を楽しく行い、体を動かす楽しさを味わえるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICTを活用し、健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにする。 身に付けさせたい運動のルールを理解し、身体の動きを身に付けられるようにと取り組む。	自己の能力に適した課題をもち、めあてを達成できるようにするための活動を工夫できるようにする。	めあてを明確にし、それを基に、教え合ったり、励まし合ったりする場を設定して運動を楽しくできるように取り組む。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICTを活用し、心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにする。 身に付けさせたい運動の特性やルールを理解し、身体の動きを習得できるように場の工夫をして取り組む。	自己の能力に適した課題の解決の仕方を考え、友達と話し合いながら工夫できるようにする。	めあてを明確にし、それを基に、教え合ったり、励まし合ったりする場を設定して運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体力を高めるよう取り組む。

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・個人に合わせた技能習得の場を設定したり、ICT教材を効果的に活用したりしながら指導を行い、個人差はあるものの児童が技能を習得することができた。
- ・調理実習を実施し、基本的な調理の経験をすることができた。
- ・衣食住などに関する実践的・体験的な活動への関心をもち、裁縫・調理・洗濯などの活動に意欲的に取り組んだ。

(2) 課題

- ・個々の生活や家庭環境に差があるため、実感がわからない児童がいる。
- ・学習の内容を、自分の生活と結び付けて考えようとする意識が低い。引き続き学習の前段階として既習事項や生活経験等、児童の実態を把握した上で課題を設定し、実生活に生かせる学習にすることで、児童の主体的な取り組みを促す。学習後には、課題として家庭での実践を計画的に取り入れて、評価する。
- ・学習を通して自分の考えの幅を広げ、課題解決に向けた選択肢を増やしていく必要がある。そのために、基本的な技能や方法をしっかりと身に付けられるように、教え合いができるグループ活動を取り入れたり、個別指導をしたりする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・個人差に合わせた技能習得の場を設定し、ICT教材を活用しながら指導を行う。 ・すすんで活動できるよう、用語・用具の使い方を知識として習得させる。 ・児童自らが課題を設定し、解決のため学習を進める問題解決型学習を行うことで、学んだ知識をより深く理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業環境を整え、豊かな発想ができるようにする。 ・よかった取り組み、よい考えを、学級全体に紹介して広める。 ・児童一人一人の考えを分類・整理して、課題に合った解決策に気付けるようにしたり、設定した条件の中で考えを選択したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活を振り返り、家族の一員としての意識を高め、実際に自分の知識や技能を生活に生かせる学習の場を設定する。 ・長期休業中を含め、家庭での実践課題を計画的に取り入れる。 ・児童が関心をもち、楽しく取り組んでいけるよう題材や資料などを工夫する。

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・振り返りや評価テストを定期的に行い、学習の定着を図ることができた。
- ・学習した単語や文法を使って、自分が伝えたいことを外国語で伝えることができた。
- ・映像や音声の ICT 機器を活用することで、外国語に親しむことができた。
- ・ALT 講師(外国語指導助手)の手本を参考に、外国語を使った会話に気軽に取り組めた。

(2) 課題

- ・自分の考えや気持ちなどを外国語で伝えることが消極的な傾向にある。
- ・身近で簡単な事柄について話を聞き、その内容を正しく理解できる力を身に付けさせる必要がある。
- ・実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識をさらに身に付ける必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

(2) 分析 (観点別)

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値を3ポイント上回っているの、基礎的な知識・技能が身に付いていると考えられる。今後も日常会話で使用するような簡単な単語や文法の知識を広げる必要がある。	・昨年度と同様に、簡単な語句や基本的な表現を用いて文章を作成する力に課題がみられる。英文がどのように構成されているのかの理解力が弱いことが原因だと考えられる。	・自分の考えや気持ちなどを外国語で伝えることが消極的な傾向にある。外国語を使って話をするに、自信がもてないことが原因だと考えられる。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 低学年(外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ICT を活用し他国の映像を見せたり音声を聞かせたりして、外国の言葉や文化に興味をもたせる。	・児童の実態に合った歌やチャンツなど身体表現やリズム遊びを行う。	・音楽のリズムに合わせて外国語に慣れ親しませる。

(2) 中学年(外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ICTを活用し、他国の文化に触れる時間を設け、外国語に親しめられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・外国語で聞いたり話したりする機会を増やし、自分の考えや気持ちを伝え合う素地を養う。	<ul style="list-style-type: none">・挨拶や、質問したり質問に答えたりする英会話を楽しく取り組ませる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・外国語を読んだり書いたりする時間を増やし、基礎的な技能を身に付けるようにする。・講師や友達の手本を参考に、自分の力で作文できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・その場や状況にあった言葉を伝えられるように言い方を何度も練習し、伝え合う機会を増やす。・ICT機器を活用し、外国の映像や音声に親しませる時間を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none">・友達や先生と積極的に会話できるゲーム的要素を取り入れる。・外国語を使って少人数の児童同士で対話する時間を設ける。